



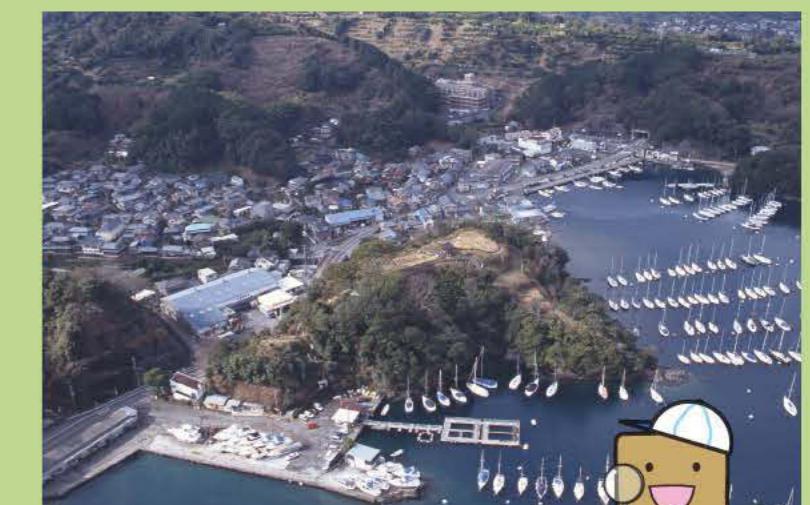
文化財 まちあるき マップ

内浦 編

内浦地区（重寺～重須）の文化財をめぐる



カロリー計算 体重 60 kg, 80m/ 分



長浜城跡

“まちあるき”の際は、車に十分注意しましょう！



タカオさんとジッキー2号

①重寺観音堂

(内浦重寺)

重寺観音堂は明治に廃寺となった金剛山大慈庵の観音堂で、江戸時代には觀音靈場の巡拜者で賑わっていた。かつては医源寺の隣にあったといわれ、二つの寺の屋根が重なって見えることが重寺の地名の由来ともい。観音堂には隣接して白山神社があり、昭和半ばまで境内にあった舞台で三番叟（人形淨瑠璃）が演じられてきた。



②天満宮（三津）

(内浦三津)

御神体は菅原道眞の自画像である。大宰府に配流されていた道眞が、祈念して空に3枚の自画像を投げると飛び去った。その後、当地で17日間にわたって海中から光明が海辺を照らすため、住民が不思議に思い見てみると、軸物から光がさしており、道眞の自画像であったという。人々は感涙し、現在地に自画像を祀ったのが起源とい。

③旧三津坂隧道

(内浦三津)

江戸時代から三津坂は田方平野と三津港を結ぶ重要な道で、米や薪などが搬出された。明治時代になり、田方地方各地で道路が整備される中、往来の改善のため隧道工事が計画され明治29年（1896）に竣工した。天城隧道の完成（明治37年）よりも古く、伊豆地方で現存するものとしては最古といわれる。（現在内部へは立入禁止）

④①気多神社

(内浦三津)

祭神は意氣長多羅司姫命で、延喜式内社の阿米都瀬氣多知命神社に比定されている。社記によれば貞觀元年（859）に当地に鎮座したとされる。石鳥居の前に立つ社表（石柱）は犬養毅の筆によるものである。社殿の南側には、明治21年（1888）に区で購入した龍吐水（消防ポンプ）2基が保存・展示されている。



⑤②安田屋旅館

(内浦三津) 国登録有形文化財（建造物）

安田屋旅館は明治20年（1887）創業の老舗旅館。松棟は大正7年（1918）、月棟は昭和6年（1931）築の和風建築で、国の登録有形文化財です。作家の太宰治は、昭和22年（1947）2月～3月にかけて、松棟の二番の部屋（現「月見草」）に滞在し、代表作「斜陽」の第1章・第2章を執筆したことでも知られています。



内浦地区の歴史年表

旧石器	約 37,000 年前
縄文	●長井崎遺跡
弥生	約 16,000 年前
古墳	●長井崎遺跡 ●中峰遺跡 ●広野遺跡
飛鳥	約 3,000 年前
奈良	●淡島岩陰遺跡
平安	西暦250年頃
鎌倉	●白髪遺跡 ●淡島遺跡 ●長井崎古墳
室町 (戦国)	●三津横穴群 ●海豚洞横穴群
安土 桃山	710年 ●太田遺跡 ●長浜神社 ●氣多神社
江戸	●天満宮（三津） ●腹帶觀音 ●珠遣寺
明治	1185年 ●海照寺 ●光明寺
大正	●三津城跡 ●畠山国清の乱 ●住本寺
昭和	●重寺城跡 ●淨因寺 ●安養寺
平成	●林鐘寺 ●八坂神社
令和	●長浜城跡 ●梶原景宗 ●医源寺
	●江戸城石垣石丁場遺跡（重寺） ●建切網漁
	●淡島の石丁場遺跡 ●八幡神社本殿（重須）
	●来迎寺 ●長浜土砂災害
	●淡島弁財天 ●敬願寺 ●重寺観音堂
	●安政の東海地震 ●庚申堂（三津）
	1868年 ●大川家長屋門 ●唯念の名号塔
	●旧三津坂隧道 ●立身舎・効法舎
	●安田屋旅館 ●石蔵・石積建物
	●特攻隊基地 ●岡部長景
	●沼津市と合併 ●養殖いけす
	●三津シーバラダイス ●淡島マリンパーク
	●ラブライブ！サンシャイン!!
	2023年

⑥③大川家長屋門

(内浦長浜)
市指定有形文化財



大川家は北条水軍の後裔と伝えられ、江戸時代から明治時代にかけて津元（網元）を務めた家柄である。長屋門は江戸時代後期から明治時代前期に建てられたとされ、津元の威容を示す表門である。渋沢栄一の孫で民俗学者でもあった渋沢敬三が『豆州内浦漁民史料』を編纂するきっかけとなった古文書が保管されていたのがこの長屋門と伝わっており、歴史的な意義も大きい。

⑦④長浜城跡

(内浦長浜・内浦重須) 国指定史跡

【表紙の写真】

天正7年（1579）、三枚城を築城した武田氏に対抗して、北条氏によって水軍の拠点として整備された。重須の湊は長井崎によって冬季の強い西風が軽減されることから、湾内の波が穏やかで、船の停泊に適した良港である。大型の軍船である安宅船が10艘停泊していたことが『北条五代記』に記されている。豊臣秀吉の小田原攻めの際に北条水軍は撤退し、城は廃城となった。現在、沼津市による整備が完了し、第一曲輪からは駿河湾越しの沼津市街地と富士山が眺められる。



長浜城跡からの景色（第一曲輪より）



長浜城復元図（画：竹内欽二）

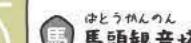


重須の石蔵

石造物ガイド



仏様が彫られた石造物の総称。
地蔵様や賽の神、様々な種類があります。



馬頭観音は駿工に馬を乗せた觀音像。
庶民の間で馬の健康や死んだ馬の冥福を祈る
ため江戸時代に多く建てられました。



庚申の日の夜、寝ている人から三尺（さんし）の虫が抜け出し、天帝にその人の罪を告げるとされます。三尺が抜け出ないよう一夜を眠らずに過ごす「庚申講」を行なう人々が建てた石造物です。



唯念は江戸～明治の僧で、静岡県東部地
仏布教を行いました。唯念に賛同した村
によって、唯念の独特の書による「南無阿
の文字を彫った石碑が各地に造立されて



上記以外の石碑・記念碑・中世の墓など

